

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	岡山市
部課室名	危機管理室
役職・氏名	主事・近藤 真吾

項目	内容
目標	今年度実施中の個別避難計画モデル事業において、個別避難計画の作成手法を整理し、次年度以降に試行的にでも市単独に事業として運用できることを目指す。
現状	モデル事業での取り組みを通じ、作成手法等を整理中
達成時期	今年度中
進め方等	モデル事業を通じて、各地区での個別避難計画作成を進めるとともに、計画作成の手法の整理や福祉専門職に個別避難計画の作成に関与してもらうための仕組み、マニュアル等の検討を進め、具体的な制度設計を行う。
進捗状況 (8月中旬)	一部地区では先行的に地域の関係者が集まって、調整会議を行い、計画を作成したところ。 併せて、福祉関係機関等との協議を行い、平時の福祉と連動した形での制度のあり方を検討中である。
今年度の 取組内容	今年度の取組内容については、「岡山市における個別避難計画の作成について」(別紙)を参照 ※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。
課題と対策	■短期(数ヶ月～半年) <課題> ・モデル事業の成果をとりまとめ、得られたノウハウを整理すること。

<対策の方向性>

モデル事業の成果を取りまとめるとともに、得られたノウハウを踏まえて手引き等を作成する。

■中長期（1～3年）

I 計画作成の「体制」に関するもの

<課題>

A) 自主防災組織が未結成の町内会に対する結成促進、計画作成の取組への支援

B) 医療・介護依存度の高い方の計画作成には、ケアマネジャー等の医療・保健・福祉の専門職の参画がなければ、地域のみでは対応が困難

<対策の方向性>

避難支援体制の核となる自主防災組織の結成・活動の促進を図るとともに、医療・保健・福祉の専門職の参画を得るための仕組みを構築する。

II 計画作成の「方法」に関するもの

<課題>

A) 自主防災組織等に対する具体的な計画作成方法や個人情報の取扱いへの理解促進

B) 医療・保健・福祉の専門職に対する計画作成方法や防災知識への理解促進

<対策の方向性>

具体的な計画作成方法等に関する理解促進を図るための仕組みを構築する。

III 計画内容の「実効性」に関するもの

<課題>

A) 関係機関同士の連携体制や情報共有の促進

B) 実効性確保に向けた避難先の確保等の課題解決のための継続的な検討（特に福祉避難所の確保、医療的ケアが必要な場合の電源の確保等）

	<p><対策の方向性> 関係機関の連携や情報共有、課題解決を図るための場を設ける。 ※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>												
今後に向けた取組内容	<p>■ 短期 (数ヶ月～半年のうちに取り組むこと (予定を含む)) 課題と対策に記載のとおり</p> <p>■ 中長期 (予定を含む) 課題と対策に記載のとおり</p>												
その他	<p>■ 個別避難計画作成の対象者の状況把握 (令和4年1月1日時点)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>把握している <input type="checkbox"/>把握していない</p> <table border="1" data-bbox="414 737 1393 1193"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>10,821人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高 (福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方)</td> <td>3,400人程度</td> <td>作成手法は地域による作成も含む</td> </tr> <tr> <td>うち優先度低 (本人や地域住民等による計画作成を必要とする方)</td> <td>優先度の高い者に該当しない者</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 令和4年度当初予算の要求状況 (個別避難計画関係) 当初予算要求にて、地域防災力強化事業として、以下のような事業の実施に必要となる経費を計上。 ・ 自主防災組織の訓練や学習会、個別避難計画の作成など活動に要する経費への助成 ・ 個別避難計画作成支援のための説明会の実施及び、福祉専門職等への個別避難計画作成業務委託</p>	区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	10,821人		うち優先度高 (福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方)	3,400人程度	作成手法は地域による作成も含む	うち優先度低 (本人や地域住民等による計画作成を必要とする方)	優先度の高い者に該当しない者	
区 分	対象者数	備 考											
避難行動要支援者名簿 掲載者	10,821人												
うち優先度高 (福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方)	3,400人程度	作成手法は地域による作成も含む											
うち優先度低 (本人や地域住民等による計画作成を必要とする方)	優先度の高い者に該当しない者												

■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。

—

【別紙】「岡山市における個別避難計画の作成について」

岡山市逃げ遅れゼロを目指す防災戦略
～みんなの命をつなぐプロジェクト～

令和4年1月時点版
岡山市危機管理室



1 概要

- 個別避難計画の効果的・効率的な作成手法等の確立のため、内閣府防災担当において、全国の34市区町村が参加しモデル事業を実施。
- 本市においても、災害リスクや地域特性等の異なる3地区をモデル地区とし、地域性に応じた取組手法や課題への対応策などを検証中。

2 モデル地区

- 市内3か所のモデル地区は以下の通り。



操南学区 (中区)	洪水浸水想定：2～5m これから作成に取り組む地域
城東台学区 (東区)	高齢化が進む大規模開発団地 作成に着手し始めた地域
千種学区 (東区)	洪水浸水想定：2～5m、5m以上 土砂災害警戒区域：58か所 昨年度から、作成に着手している地域

3 スケジュール

- モデル事業のスケジュールは以下の通り。

時期	岡山市			
	全体	操南学区	城東台学区	千種学区
5月	モデル事業応募			
6月	モデル事業スタート			
7月		対象者訪問	対象者訪問	対象者訪問
8月	説明会①②	調整会議		調整会議
9月	説明会③～⑦		地域向け説明会	
10月	説明会⑧～⑩	避難訓練	調整会議	
11月	今後に向けた検討		※今後、避難訓練を実施予定	避難訓練
～				
3月	とりまとめ			

4 モデル地区の取組内容

- 各地区の**自主防災組織や民生委員等を中心**に取り組んでいる。
- 取組の基本的な流れは、
①訪問・聞き取り→②調整会議→③避難訓練
という3つのステップ。
- **ケアマネジャー等の専門職にも参画**してもらい、福祉サービスを活用した事前避難を検討するなど、**より実効性の高い避難方法や効果的・効率的な取組手法**を検証中。

訪問・聞き取り

対象者宅を訪問し、取組内容について説明するとともに、本人の状況について聞き取り等を行う。（計画書の記入を依頼する場合もある）



- モデル事業により見えてきたこと
普段から本人の状況をよく知る民生委員と一緒に訪問
→本人にとっては、話しやすく、理解も得られやすいことが分かった。

調整会議

本人・家族や支援者となる近隣住民、自主防災組織、民生委員、ケアマネジャー、行政関係等の関係者が集まり、本人の状況や支援内容、避難方法等を話し合う。検討内容を踏まえ、様式に必要事項を記入し、計画書を作成。



- モデル事業により見えてきたこと
関係者が集まって話をする中で**具体的な支援内容等の認識が共有**でき、**顔の見える関係の構築につなが**ることが分かった。

避難訓練

作成した計画に基づいて避難訓練を行う。



- モデル事業により見えてきたこと
実際に避難を体験することにより、計画内容の検証ができ、より実効性の高めることができる。
訓練自体が地域住民と顔を合わせる機会となり、地域のつながりづくりの場となることが分かった。



地域における避難行動要支援者の個別避難計画の作成への取組を推進するため、地域の自主防災組織や町内会、民生委員・児童委員の方々向けに、その必要性や実際に計画作成を進めている地域の取組等に関する講演を中心とした説明会を開催している。

1 開催概要

■開催時期・回数

令和3年8月～10月ごろにかけて
市内4区で各区2回ずつ（+追加開催あり）
→計10回開催

■参加対象者

地域の自主防災組織、町内会、民生委員・児童委員
など

■参加状況

計1,000名を超える参加申込あり

2 内容

全体2時間30分程度

(1) 説明

「個別避難計画の作成について」 （岡山市危機管理室）

(2) 基調講演

「要配慮者が地域をつなぐ ～助ける側と助けられる側からの脱却～」

■講師（各回いずれか一人の講師が参加）

- ・香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構（IECMS）
地域強靱化研究センター 創造工学部 防災・危機管理コース
特命准教授 磯打 千雅子 氏

- ・日本防災士会 岡山県支部

支部長 神田 敬三 氏

(3) 取組紹介

「安心して住み続けることができる地域を目指して
～皆で支え合う地域づくり～」

■講師

- ・千種学区連合町内会、千種学区連合自主防災会

会長 伊永 高明 氏

(4) 登壇者によるパネルディスカッション

(5) 説明

「避難所開設・運営について」 （岡山市危機管理室）

3 当日の様子





1. 医療・保健・福祉の専門職との連携に関する取組

- 介護支援専門員協会、相談支援専門員協会、訪問看護ステーション連絡協議会などの医療・保健・福祉の関係機関との意見交換の場を定期的に開催。
- 計画作成にあたって担当ケアマネジャーより本人の状況について助言を得る。
- 担当ケアマネジャーに調整会議の場に参加してもらう。
- 自立支援協議会や専門職の自主的な勉強会等の既存の会議等に参加し、意見交換を実施。
- 地域包括支援センターと連携し、ケアマネジャー向けに、ハザードマップの見方や個別避難計画作成に関する内容を取り入れた研修を実施。
- 医療的ケアを要する方について、法改正前より保健所を中心に、訪問看護師などと連携して個別支援計画の作成に取り組んでおり、今後、危機管理室も連携し、医療的ケア分野についても取り組んでいく予定。

2. 専門職以外の多様な関係者との連携に関する取組

- 各モデル地区の自主防災組織が中心となり、民生委員・児童委員や福祉関係者等と連携し、計画作成。
- 全市の自主防災組織や民生委員・児童委員を対象に、個別避難計画に関する理解促進を図るべく、有識者による講演や実際に計画作成に取り組んでいる地域の取組紹介などを内容とした説明会を開催。
- 各地区の自主防災組織や民生委員・児童委員等の要望に応じ、個別に出前講座を開催。
- モデル事業の取組状況を関係機関との情報共有を図るため、以下のような場で進捗状況を説明。
 - * 地域包括支援センターや社会福祉協議会など、福祉や地域づくり等の関係機関が集まる既存の会議
 - * 地域包括支援センターの各センター長が集まる会議
 - * 社会福祉協議会等が取り組んでいる地域ごとの協議会
- 公民館との連携で、以下のような取組を実施
 - * 地域の自主防災組織同士の情報交換の場で取組状況を共有
 - * 操南学区の避難訓練時に、公民館職員による身近なもので防災グッズを作成する講座を開催
- 中学校との連携で、以下のような取組を実施。
 - * 操南学区の避難訓練時に、近隣中学校の生徒がボランティアとして参加し、地域住民と一緒に避難訓練や振り返りワークショップを体験。
 - * 地域住民との防災に関する意見交換会を開催。

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	倉敷市
部課室名	防災危機管理室防災推進課
役職・氏名	主任 栗原 美代子

項目	内容
目標	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時要援護者台帳の見直し作業 ②個別避難計画作成の手引きの取りまとめ
現状	<ul style="list-style-type: none"> ①台帳掲載者数が 37,000 人となっており、真に支援を必要としている者の絞り込みを行う必要がある。台帳の見直しに伴い、掲載者数が数千人（予想）の避難行動要支援者名簿の新たな作成を行う。 ②災害時要援護者台帳に掲載された方は、個別避難計画の作成することとなるが、市では、福祉職団体、障がい者団体等と連携し、試行的に個別避難計画の作成に取り組んでいる。
達成時期	<ul style="list-style-type: none"> ①新たに作成する避難行動要支援者名簿は次回配布分（令和 4 年夏頃）から提供予定。 ②試行結果を踏まえ、令和 3 年度中に個別避難計画作成の手引き（仮称）等を取りまとめる。
進め方等	<ul style="list-style-type: none"> ①庁内の担当部署と検討を行い、新しい調査対象要件を決定する。 同意確認書・避難行動要支援者名簿の様式を見直す。 要援護者避難支援検討委員会（※）の開催、民生委員への説明を行う。 システム改修を行う。 新しい調査対象要件に該当する者（以下、新要件該当者）および新しい調査対象要件に該当しない者（以下、新要件非該当者）のうちの既同意者に対して一斉調査を行う。 （※）庁内の担当部署、市社協及び市民児協の各地区代表で構成される会議

進捗状況 (8月中旬)	<p>—</p>
今年度の 取組内容	<p>①庁内の担当部署と検討を行い、新しい調査対象要件を決定した。 同意確認書・避難行動要支援者名簿の様式を見直した。 要援護者避難支援検討委員会を開催，民生委員への説明を行った。 名簿の見直しに対応するよう，システム改修を行った。 <u>11月末に新要件該当者および新要件非該当者のうちの既同意者に対して一斉調査を行った。</u></p> <p>②高齢者支援センター、障がい者団体、自主防災組織それぞれのモデルケースに説明会を行った。 試行して問題点洗い出しやマニュアル作成に活かす予定だったがコロナのため集会ができず遅れている。</p> <p>③個別避難計画に関する地域向及び福祉関係者向講演会を1月に予定していたが、コロナのため講演内容を後日配信する形となった。</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>
課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <p>①（課題）一斉調査の際，市民から制度の内容や同意確認書の記載方法が難しいという問い合わせが複数あった。 （対策）依頼文やチラシ，同意確認書の様式等の改善を検討する。</p> <p>②（課題）個別避難計画作成の啓発。 （対策）出前講座等を行い，作成マニュアル等を広める。</p> <p>③（課題）名簿受け取りの申し出をしていない自主防災組織へも交付が必要。 （対策）名簿交付の要綱を改定する。</p> <p>■中長期（1～3年）</p> <p>①（課題）新要件が実際の避難行動要支援者に合致しているかの照合が必要。 （対策）個別避難計画作成などを通じて検討する。</p> <p>②（課題）対象者への同意確認時に，調査の趣旨が伝わっているか，検討が必要。 （対策）民生委員の訪問，個別避難計画作成などを通じて検討する。</p>

	<p>③ (課題) 自主防災組織がない, 本人が近隣と付き合わない, 状況的に近隣住民の手に余るなど計画作成の進まない場合への対応</p> <p>(対策) 福祉専門家等の介入による作成を行い, 高齢者支援センターなどを通じて地域との連携を図っていく体制づくり。</p> <p>④ (課題) 個人情報をごどのように管理・活用するか。個別避難計画の保存を紙とデータで行う場合の保管場所の長期確保や通常の福祉支援と連携していく方法の検討が必要。</p> <p>(対策)</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>
今後に向けた取組内容	<p>■短期 (数ヶ月～半年のうちに取り組むこと (予定を含む))</p> <p>①一斉調査 (未返信者の対応を含む) を完了し, 避難支援等関係者へ名簿を配布する (令和4年6月までに)。</p> <p>②「避難行動要支援者名簿」の対象者への依頼文やチラシ, 同意確認書の様式等の改善を検討する。</p> <p>③様式やマニュアル, 提出・保管方法の決定。</p> <p>④報酬の仕組みを決定。</p> <p>⑤個別避難計画の周知・啓発活動。</p> <p>■中長期 (予定を含む)</p> <p>①令和5年度の名簿作成に向け, 避難支援等関係者との情報共有に取り組む。</p> <p>②個別避難計画と地区防災計画の連携。</p> <p>③避難訓練による実効性向上の促進。</p> <p>④避難先の施設との連携・支援。</p>
そ の 他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握 (令和4年1月)</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p><input type="checkbox"/>把握していない</p>

区 分	対象者数	備 考
避難行動要支援者名簿 掲載者	3,000人～ 4,000人	※調査中のた め見込み数
うち優先度高（福祉専門職や行政に よる計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	
うち優先度低（本人や地域住民等に よる計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	

■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係）

- ・要配慮者支援マニュアル印刷代
- ・個別避難計画作成委託料（@7,000）
- ・地理情報システム事務機器リース料

■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。
報酬の対象とする資格・団体や報酬額を県内で統一してはどうか。

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	津山市
部課室名	生活福祉課
役職・氏名	主任 河本 有加里

項目	内容
目標	避難行動要支援者名簿 外部提供同意者 1,300 名
現状	R3.3.31 現在で避難行動要支援者名簿掲載者 2,241 名のうち、外部提供同意者 1,026 名・不同意者 274 名・意思表示なし 941 名。同意者については、基本的に個別避難計画書は提出済（ただし、本人作成のため内容不足も散見される）。
達成時期	令和 7 年度
進め方等	年に一度、市で把握可能な一定の要件に該当する要支援者に対して、避難行動要支援者名簿の外部提供の同意と個別避難計画書作成の勧奨文書を送付している（勧奨文書内に提出期限は掲載しているが、期限外でも随時提出を受け付けている）。
進捗状況 (8月中旬)	従前からの数値目標を継続している。避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針の改定に伴う個別避難計画の作成努力義務化等を受けての新目標等は現段階では未設定。
今年度の 取組内容	<p>市で把握可能な一定の要件に該当する要支援者に対して避難行動要支援者名簿の外部提供の同意と個別避難計画書作成の勧奨文書を送付し、返信のあった者については避難行動要支援者名簿システムに入力を進めている。個別避難計画書 1 件につき入力作業に時間を要するため、提出内容をシステムに反映するのが少し遅くなってしまっている。</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>

<p>課題と対策</p>	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <p>要支援者情報の外部提供同意者は、個別避難計画書を自身で作成し市に提出いただいているが、個人情報保護の観点などから外部提供に同意したくないという人も少なからずおり、外部提供に同意し個別避難計画を作成することのメリットについて理解を進める必要がある。</p> <p>■中長期（1～3年）</p> <p>現在のところ、個別避難計画は要支援者自身やその家族等に記入し作成して貰っているため、計画書として内容に不備や不足も多く見受けられる。より実効性のある個別避難計画書が作成できる仕組みづくりに取り組む必要がある。</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>									
<p>今後に向けた取組内容</p>	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <p>広報誌などを利用して、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画書について市民の理解を進める。</p> <p>■中長期（予定を含む）</p> <p>避難行動要支援者名簿掲載者について、居住地や本人の状態に応じた個別避難計画書作成優先度の基準策定に取り組み、優先度が高い者の把握に努める。</p>									
<p>その他</p>	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和3年12月31日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p>■把握していない</p> <table border="1" data-bbox="414 1117 1393 1407"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>2,379人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>未把握</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	対象者数	備考	避難行動要支援者名簿 掲載者	2,379人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	未把握	
区分	対象者数	備考								
避難行動要支援者名簿 掲載者	2,379人									
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	未把握									

<p>うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</p>	<p>未把握</p>	
<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係）</p> <ul style="list-style-type: none">・避難行動要支援者システム保守料…330千円・名簿登録意思確認等に係る役務費（郵送料等）…174千円・名簿登録意思確認等に係る印刷製本費（封筒代等）…22千円 <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>		

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	玉野市
部課室名	福祉政策課
役職・氏名	係長 増田 浩子

項目	内容
目標	庁内において福祉・防災・介護・保健等の部署を中心に推進体制を整備し、整備した庁内推進体制の中で、計画作成の優先順位の高い避難行動要支援者の検討、モデル地区の選定を行う。
現状	今年度「玉野市地域福祉活動推進計画」を策定しており、その取組目標として個別避難計画の策定を掲げ、計画期間内（令和8年まで）に策定の実現を目指すこととしている。
達成時期	令和3年度末
進め方等	福祉部門が中心となりながら、目標達成に向けて関係部署・機関（備前保健所）と協議を行う。
進捗状況 (8月中旬)	他の優先度の高い避難行動要支援者を対象とした個別避難計画作成に向けて、庁内関連部署の連携を始めた。
今年度の 取組内容	<p>計3回のワーキンググループを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の範囲について再検討 ・優先度の検討を行った。 ・災害被害の観点からハザードマップを用いて優先度の高さを検討しようとしたが、危険でない地区がなかったため、行き詰まっている。

	※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。													
課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年） どのように優先順位の高い人を把握するか。</p> <p>■中長期（1～3年） 地域・専門職とつながる。</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>													
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む）） 優先順位の高い人の抽出について、専門職と協議する。</p> <p>■中長期（予定を含む） 優先順位の高い人の中から、モデルを決めて、個別避難計画を作成する。</p>													
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和〇年〇月〇日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>把握していない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>642人</td> <td>R3.5.1 現在</td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>未定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</td> <td>未定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	642人	R3.5.1 現在	うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	未定		うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	未定	
区 分	対象者数	備 考												
避難行動要支援者名簿 掲載者	642人	R3.5.1 現在												
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	未定													
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	未定													

	<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係）</p> <p>なし</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>
--	--

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	笠岡市
部課室名	危機管理課
役職・氏名	主査 藤原 隆次

項目	内容
目標	災害時要支援者名簿に登録済みの方全ての計画を作成する。さらに、地区毎で災害時に避難支援を必要としている方を見つけ出し作成する。
現状	平成31年度にモデル地区として、8地区が作成完了。そのモデルを活用し水平展開を実施している。
達成時期	概ね5年を目標に進めていく。
進め方等	<p>笠岡市自主防災連絡協議会総会で、市内の全自主防災組織の会長に作成のお願いをしており、要望のあった地区（進めやすい地区から）に対して、作成についての説明会（健康福祉部，危機管理部）を実施。</p> <p>その後は、地区毎に組織の体制の違いや自主防災の活動に対する温度差があったりするので、地区に合った支援を行う。</p> <p>例）計画作成のチーム作り</p> <ul style="list-style-type: none"> → 要支援者の選定（こういった範囲・方法で見つけ出すか） → 期日を決めて、各チームで作成開始
進捗状況 (8月中旬)	<p>111 自主防災組織中</p> <p>策定済：金 浦 地区（8 自主防災組織）</p> <p>策定中：北木島 地区（3 自主防災組織）</p>

	<p>吉 田 地区 (1 自主防災組織)</p> <p>北 川 地区 (15 自主防災組織)</p>
今年度の取組内容	<p>今年度の笠岡市自主防災連絡協議会総会で、各自主防会長に作成を依頼し、32 自主防災組織 (うち 8 自主防災組織は令和元年度作成済み) が今年度中の作成完了予定で取り掛かった。</p> <p>そのうち 12 組織が計画を作成したが、その他の組織は、コロナ禍で地域の集まり自体が開催できない、研修会を予定していたものが中止などの理由で計画の作成が進んでいない。</p>
課題と対策	<p>■短期 (数ヶ月～半年)</p> <p>■中長期 (1～3年)</p> <p>組織作りが出来ていない地域は、地域での支援は難しいと考えている。</p> <p>→ 対策としては、まずは組織作りを進めていきたい。自主防災組織の規約を作成し、地域の住民みんなが参加して防災対策を行っていくという意識を醸成していく。</p> <p>計画の更新をどのようにしていくのか。</p> <p>災害時要支援者名簿を市で更新し、毎年時期を決めて自主防災組織へ配付していく。</p>
今後に向けた取組内容	<p>■短期 (数ヶ月～半年)</p> <p>■中長期 (1～3年)</p> <p>まちづくり協議会単位での自主防災組織の連携を進めていき、また、まちづくり協議会を受け皿にして、その他の団体との連携も進めていきたい。</p>
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握 (令和3年10月31日)</p> <p>■把握している</p> <p>□把握していない</p>

区 分	対象者数	備 考
避難行動要支援者名簿 掲載者	556人	
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	—	優先度を付けていない
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	—	優先度を付けていない

■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係）

特に無し

■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。

—

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	高梁市
部課室名	防災復興推進課
役職・氏名	係長 堀 神悟

項目	内容
目標	避難支援プラン全体計画の改正及び個別避難計画作成手順のマニュアル化
現状	避難支援プラン全体計画は平成22年2月に策定されているが、これまで改定されておらず、個別計画の作成もできていない状況である。
達成時期	令和4年1月
進め方等	個別避難計画研究部会で計画作成の手順を福祉部局と一緒に学ぶとともに、令和3年3月に導入した避難行動要支援者名簿管理システムを活用した計画作成の方法を福祉部局と検討を進め、個別避難計画作成までの手順をマニュアル化し、災害時の避難支援等を実効性のあるものにするための、避難支援プラン全体計画に改正する。
進捗状況 (8月中旬)	福祉部局で、避難行動要支援者名簿管理システムの名簿整理を行っている段階であり、計画作成におけるシステムの活用方法等についての福祉部局との検討は未実施。
今年度の 取組内容	<p>令和3年11月に避難支援プラン全体計画（全面改訂）の素案を作成するための委員会を開催し、協議を進め、現在作成中であり、令和4年3月に避難支援プラン全体計画を策定予定である。全体計画では個別避難計画作成の詳細な手順等は記載しないこととし、作成手順のマニュアルについては、今年度中に試行的に個別避難計画作成を実施する地区を選定し、来年度作成を進める中で策定予定である。</p> <p>これまで個別避難計画が未作成であり、どの程度の業務が発生するのか不明な点も多く、内部の協議に時間がかかっ</p>

	<p>た。また、緊急事態宣言等により、避難行動要支援者名簿システムの保守業者が来庁できず、名簿の整理が遅れた。</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>											
課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <p>個別避難計画作成の情報等を把握していない関係課もあり、内部の委員会で全体計画の作成を進めるなかで、情報の共有を行い、作成意識の醸成を図った。</p> <p>■中長期（1～3年）</p> <p>個別避難計画の新規作成と更新を継続するために、関係課でマニュアルを作成する。</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>											
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <p>個別避難計画を試行的に作成する地区を1地区選定し、令和4年度に当該地区で優先度の高い方の個別避難計画を防災部局と福祉部局が連携し作成する。</p> <p>■中長期（予定を含む）</p> <p>試行的に個別避難計画の作成を進めていくなかで、手順等のマニュアルを作成する。</p>											
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和4年1月26日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>把握していない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	〇〇,〇〇〇人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	
区 分	対象者数	備 考										
避難行動要支援者名簿 掲載者	〇〇,〇〇〇人											
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人											

	うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人		<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係） 講師謝金 80 千円、講師費用弁償 20 千円、用紙代 33 千円、郵便料 210 千円</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>
--	--------------------------------	---------	--	---

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	新見市
部課室名	総務部総務課危機管理室
役職・氏名	主査 長田 友昭

項目	内容
目標	個別避難計画を5年以内に作成する。
現状	一部地域の個別避難計画しか作成できていない。
達成時期	令和7年度末
進め方等	庁内及び市内の関係機関と協議し調整しながら進める予定。
進捗状況 (8月中旬)	庁内関係課の担当者レベルでの調整を始めた。
今年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度当初予算の確保 ・避難行動要支援者名簿からハザード状況の対象者切り出し（概算） <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>
課題と対策	<ul style="list-style-type: none"> ■短期（数ヶ月～半年） ・推進体制整備 ・優先度判定方法など具体的な方針の決定 ・避難所の指定に関する準備

	<p>■中長期（1～3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画の更新 ・地域組織の育成 <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>												
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先度判定方法の決定 ・優先度判定 ・庁内、庁外の体制整備 ・対象者からの計画策定同意取得 ・福祉関係者、自主防災組織等への啓発 <p>■中長期（予定を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区を設定し個別避難計画の作成 ・モデル地区での作成状況を踏まえて全市で個別避難計画作成 												
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和4年1月1日）</p> <p>■把握している □把握していない</p> <table border="1" data-bbox="414 1061 1391 1468"> <thead> <tr> <th data-bbox="414 1061 943 1134">区 分</th> <th data-bbox="943 1061 1187 1134">対象者数</th> <th data-bbox="1187 1061 1391 1134">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="414 1134 943 1246">避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td data-bbox="943 1134 1187 1246">1,530人</td> <td data-bbox="1187 1134 1391 1246"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="414 1246 943 1358">うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td data-bbox="943 1246 1187 1358">調査中</td> <td data-bbox="1187 1246 1391 1358"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="414 1358 943 1468">うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</td> <td data-bbox="943 1358 1187 1468">調査中</td> <td data-bbox="1187 1358 1391 1468"></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	1,530人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	調査中		うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	調査中	
区 分	対象者数	備 考											
避難行動要支援者名簿 掲載者	1,530人												
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	調査中												
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	調査中												

	<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係） 査定段階ではあるが、概ね確保 （要求額：8,660千円、査定額：6,500千円、財源：ふるさと納税基金）</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>
--	---

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	備前市
部課室名	市長公室危機管理課
役職・氏名	課長代理・直原吉洋

項目	内容
目標	庁内での整備体制と名簿掲載基準の整備
現状	名簿を整備することが優先され、本人の優先度・必要性について議論がされていない。また、申請に基づき名簿を作成しているが、掲載者へ個別計画作成に必要な介護や障がいの情報が地元住民に伝わることは説明できていない。（名簿に名前を載せれば、市が何かしてくれると思われる。）
達成時期	年度末
進め方等	<p>①今回の一連の研修を通じて、他市町村の進め方を庁内で共有。</p> <p>②庁内整備体制の確立と、本人の必要性等を踏まえた名簿掲載基準を作成。 また、個別計画作成の優先順位を関係部署で協議し決定（申請書の見直しを行う）。</p> <p>③現在の名簿掲載者へ個別計画の説明及び、必要性の判断のための情報を得るため新しい申請書で再申請を依頼（次年度）。</p>
進捗状況 (8月中旬)	危機管理部門、福祉部門の担当が研修に参加し情報を共有している。
今年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・福祉部門の担当者が集まり、要支援者名簿への掲載内容や対象者見直しについて議論を行った。 ・個別避難計画作成について、研究部会資料の情報共有や、庁舎内で今後の方針について具体的に協議が行えなかった。

	※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。													
課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <p>■中長期（1～3年）</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>													
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <p>■中長期（予定を含む）</p>													
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和〇年〇月〇日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p><input type="checkbox"/>把握していない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	〇〇,〇〇〇人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人		うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	
区 分	対象者数	備 考												
避難行動要支援者名簿 掲載者	〇〇,〇〇〇人													
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人													
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人													

	<p>■令和4年度当初予算の要求状況(個別避難計画関係)</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p>
--	---

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	瀬戸内市
部課室名	総務部危機管理課
役職・氏名	主事 園田 将人

項目	内容
目標	避難行動要支援者名簿に記載の全対象者ごとに計画を策定する。
現状	未策定
達成時期	5年以内
進め方等	<p>①危機管理部局と福祉部局との検討会議を設置し、市の取り組み方針について検討する。</p> <p>②地域のハザードや活動状況を踏まえて、順次地区を設定し取り組む。</p> <p>※必要に応じてまちづくり部局や消防、福祉専門職（ケアマネ、相談支援専門員）自主防災会等の地域団体との連携を図る。</p> <p>※出前講座や防災リーダー研修において、個別避難計画について周知を図る。</p> <p>※避難行動要支援者名簿の更新に合わせて、要支援者への周知を図る。</p>
進捗状況 (8月中旬)	危機管理部局と福祉部局とで検討会議を設置。
今年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理部局と福祉部局で研究部会に参加し、取組手順等について情報収集、今後の方針を検討。 ・福祉課から、相談支援専門員の会議にて概要説明と今後の協力について依頼。

	※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。
課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <p>課題：取組方針、フロー、優先順位の決定</p> <p>解決策：危機管理部局、福祉部局で協議、決定</p> <p>■中長期（1～3年）</p> <p>課題：要支援者、支援関係者への意識付け（特に福祉専門職等と地域住民の間には認識に差があるため、地域調整会議の開催にあたっては慎重な取り組みが必要）</p> <p>解決策：説明会、学習会の開催</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議の開催 ・福祉専門職等との連携会議の開催 ・優先的に計画を作成する要支援者の選定 <p>■中長期（予定を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者、支援関係者向け説明会、学習会の開催（開催にあたっては、福祉専門職等、民生委員、地域住民など、立場ごとに分けるなど工夫が必要）
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和〇年〇月〇日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p>■把握していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月に避難行動要支援者名簿作成に係る同意書を送付。 ・令和4年2月～3月に名簿完成予定。 <p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係）</p>

・ 郵券代を要求

■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。

研究部会では、地域調整会議のロールプレイなどを中心に、きめ細やかで具体的な取り組みについて学んできました。計画の実効性を確保するために必要なプロセスであるし、一人の犠牲者も出さないために丁寧に取り組みたいと強く思っています。

一方で、すべての要支援者に同様の取り組みができるかという点、現実的に難しい状況です。ハザードや要配慮者の心身の状況により、優先順位付け（取り組む順番付け）はできますが、計画作成段階でどう力配分するのか。すべての要支援者に地域調整会議を開くのか、近親者等により計画様式のすべての項目が埋まれば完成とするのか、計画様式もどこまで作りこむのか、計画を誰にどのように共有しておくのか。

「一度作って、定期的に見直しながら少しずつ完成を目指す」というならその通りかもしれませんが、実際のところ、1回目の作成の時点ではどこまでを目指すのか。各市町村の皆さんの実務的な取組方針をお伺いしたいです。

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	赤磐市
部課室名	くらし安全課
役職・氏名	主事・宗高 拓海

項目	内容
目標	庁内の防災と福祉部局の意識共有が行なえ、役割分担が明確に行える。 外部の団体、組織と共に必要な要支援者に対して計画作成ができる。
現状	防災・福祉互いの業務内容の理解が進んでおらず、本事業の意義についても共有ができていない。 結果、役割分担等にまで協議が行き着いていない。
達成時期	R4年度以降
進め方等	防災・福祉の担当者が同じ話を聞き、互いの業務内容、進行状況、課題等を共有して、日常生活行為への支援の1つとして「防災」「避難」を入れることで、支援について具体的に協議を行っていく。
進捗状況 (8月中旬)	県のモデル事業に参加し、各担当者が共に同じ話を聞いて本事業についての共通理解を行っているところ。
今年度の 取組内容	<p>県のモデル事業への各部局担当者の参加 各部局担当者同士の協議 介護保険（地域支え合いネットワーク推進協議会）障害（自立支援協議会・相談支援専門員連絡会）分野との協議、 情報共有</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>

課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年） 担当者同士の意識共有は進んだが、部局間の情報共有・役割分担の共有に至っていない。</p> <p>■中長期（1～3年） 庁内体制が確立されていない。 庁内協議を行い、体制構築、役割分担を明確にする。</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>												
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む）） 庁内体制を構築するための担当部局会会議を行う。</p> <p>■中長期（予定を含む） 庁内+外部（社協、警察等）の会議を行う。</p>												
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和〇年〇月〇日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p>■把握していない</p> <table border="1" data-bbox="414 954 1393 1366"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	〇〇,〇〇〇人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人		うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	
区 分	対象者数	備 考											
避難行動要支援者名簿 掲載者	〇〇,〇〇〇人												
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人												
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人												

	<p>■令和4年度当初予算の要求状況(個別避難計画関係)</p> <p>予算要求なし</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>
--	--

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	真庭市
部課室名	健康福祉部福祉課
役職・氏名	参事・尾崎ひろみ

項目	内容
目標	要介護認定者・障がい者・難病患者等の個別避難計画作成
現状	上記対象者のうち希望者は自ら作成をしているが、元々対象者への周知ができていない。
達成時期	個別避難計画作成については、出水期までに。
進め方等	介護支援専門員と11月に防災研修会を計画している。相談支援専門員や福祉活動専門員等にも声掛けし、参加してもらう。真庭市の個別避難計画についても説明し、作成の協力依頼を行う。 同時に、危機管理部門を中心に全体計画の見直し、福祉分門を中心に福祉避難所設置運営マニュアルの改正を検討したい。
進捗状況 (8月中旬)	今年度、介護支援専門員との協議を2回実施、次回8/30には11月の合同研修会についての協議を行う。 また、福祉避難所について庁内協議を行った。8/24に第2回を予定しており、これまでの開設の検証を行い、改正案を協議する。
今年度の 取組内容	7月に、民生委員児童委員に向けて、地域で避難の手助けが必要な人がいたら個別避難計画の作成を支援して市に提出してもらうよう依頼した。また、既に作成した人の中で、地域の支援者欄等の記入がない計画について支援者のマッチングをしていただくよう依頼した。 11月に、福祉専門職を対象とした防災説明会を実施。個別避難計画作成の依頼を行えば、自助共助のみで公助はな

	<p>いのかと必ず質問を受けるので、作成目的の丁寧な説明が必要と感じている。</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>													
課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年） 現在の登録者の情報更新</p> <p>■中長期（1～3年） 支援者にも計画作成に理解を示していただきながらの作成</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>													
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む）） 庁内調整会議</p> <p>■中長期（予定を含む） 避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)の見直し</p>													
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和〇年〇月〇日）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>把握している <input type="checkbox"/>把握していない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>838人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td>基準無し</td> </tr> <tr> <td>うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td>基準無し</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	838人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	基準無し	うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	基準無し
区 分	対象者数	備 考												
避難行動要支援者名簿 掲載者	838人													
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	基準無し												
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	基準無し												

	<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係） なし</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。 —</p>
--	--

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	和気町
部課室名	危機管理室
役職・氏名	主任 松岡 広大

項目	内容
目標	R3年度 対象者の選定基準（介護や障がいの等級）の決定 R4年度～ 個別避難計画の作成
現状	R元年度に田ヶ原自主防災会でモデル事業を実施したものの、新型コロナの影響もあり、他の自主防災会へ普及できていません。
達成時期	未定
進め方等	自主防災組織が主体となり計画作成に取り組みたいと考えています。 また、ケアマネージャーや民生委員の方々を対象とした防災研修等を行い、日常から対象者と関わっている方に作成に加わってもらうことで、よりスムーズに計画を作成したいと考えています。 さらには、計画に支援者の名前を記入するだけの計画にならないよう、対象者と支援者、自主防災組織が顔の見える関係づくりを行いたいと思います。
進捗状況 (8月中旬)	今後、健康福祉課や介護保険課と協議をし、対象者の選定基準を決定したいと考えています。
今年度の 取組内容	今年度、本部会に福祉部局と一緒に参加させていただき、個別計画の作成について、危機管理部局と福祉部局で認識を統一できたと同時に、理解を深めることができました。 ※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。

課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <p>新型コロナの影響により、自主防災組織を巻き込んだ研修等の開催が難しい状況です。人数を限定するなどしながら研修等を行い、各委員や自主防災組織にも個別計画作成の理解を深めていただきたいと考えています。</p> <p>■中長期（1～3年）</p> <p>優先度が低い方については、地域の自主防災組織を中心に作れる体制を構築したい。そのために地区防災計画の作成も併せて推進していきたい。</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>												
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <p>6月に実施予定の民生委員の総会で、個別避難計画についての説明と協力依頼を行う。それと併せて、各事業所のケアマネージャーにも説明と協力依頼を行う。</p> <p>■中長期（予定を含む）</p> <p>優先度が高い方について、計画作成の完了を目指します。</p>												
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和〇年〇月〇日）</p> <p>■把握している</p> <p>□把握していない</p> <table border="1" data-bbox="412 1062 1393 1469"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td>約900人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）</td> <td>〇〇,〇〇〇人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	対象者数	備 考	避難行動要支援者名簿 掲載者	約900人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	調整中	うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	
区 分	対象者数	備 考											
避難行動要支援者名簿 掲載者	約900人												
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人	調整中											
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	〇〇,〇〇〇人												

	<p>■令和4年度当初予算の要求状況(個別避難計画関係)</p> <p>研修開催の講師謝金</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>
--	---

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	矢掛町
部課室名	総務防災課
役職・氏名	課長代理 立川人士

項目	内容
目標	令和8年度までに真に必要な者に対して個別避難計画を作成する。
現状	個別避難計画作成実績はなし
達成時期	令和8年度まで
進め方等	令和3年度は、岡山県の個別避難計画研究部会へ町職員が参加して、個別避難計画の作成のノウハウを勉強する。 岡山県の地区防災計画等作成モデル事業を活用して個別避難計画を作成している美川地区の実績を全町に広げる。
進捗状況 (8月中旬)	①は第1回研究部会へ防災部局の職員と福祉部局の職員が1名ずつ参加した。 ②は第1回目の地区部会を開催したところである。
今年度の 取組内容	<p>当町では、作成実績がないので、県の研究部会への参加、地区防災計画等作成モデル事業の実施を通じて、作成について学んだ。</p> <p>モデル事業については、実施地域の理解と協力により、計画を9件作成できた。</p> <p>ただし、個人情報が増えることを心配する声も一部で聞いた。</p> <p>個人情報の理解と管理が今後の課題と感じた。</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>

課題と対策	<p>■短期（数ヶ月～半年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民への周知 広報媒体，出前講座などを通じた必要性の周知 ・計画作成を進めていくための外部との連携 社協，民生委員，ケアマネジャー等福祉専門職との協議 <p>■中長期（1～3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーへの作成報酬制度などの可否の検討 他市町村の情報収集をしながら費用対効果を検討 ・計画の管理体制 電算システムの在り方も含めた他市町村の情報収集 <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>									
今後に向けた取組内容	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業の検証（反省） ・町民への計画作成の必要性の周知 ・外部との推進体制の検討 <p>■中長期（予定を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民への計画作成の必要性の周知 ・外部との推進体制の確立 									
その他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和4年1月1日）</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p>■把握していない</p> <table border="1" data-bbox="414 1169 1391 1453"> <thead> <tr> <th data-bbox="414 1169 943 1241">区分</th> <th data-bbox="943 1169 1187 1241">対象者数</th> <th data-bbox="1187 1169 1391 1241">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="414 1241 943 1353">避難行動要支援者名簿 掲載者</td> <td data-bbox="943 1241 1187 1353">533人</td> <td data-bbox="1187 1241 1391 1353"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="414 1353 943 1453">うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）</td> <td data-bbox="943 1353 1187 1453">人</td> <td data-bbox="1187 1353 1391 1453">今後把握</td> </tr> </tbody> </table>	区分	対象者数	備考	避難行動要支援者名簿 掲載者	533人		うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	人	今後把握
区分	対象者数	備考								
避難行動要支援者名簿 掲載者	533人									
うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	人	今後把握								

	うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	人	今後把握	
<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係） なし</p> <p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。 —</p>				

個別避難計画の作成に向けた取組（最終報告）

市町村名	勝央町
部課室名	総務部
役職・氏名	主査・佐々木 正宏

項目	内容
目標	<ul style="list-style-type: none"> ①避難行動要支援者名簿の精査、見直し ②優先度の高い避難行動要支援者の個別避難計画を作成する
現状	<p>避難行動要支援者名簿は作成済 個別避難計画は未作成</p>
達成時期	<ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度末 ②令和7年度末
進め方等	<ul style="list-style-type: none"> ①庁内体制の整備 関係部署（防災、福祉、介護）が一体となり、自主防災組織やケアマネージャー、民生委員、社協などを含めた関係機関と共に計画作成を進める組織作りを行う。 ②個別避難計画の作成のベースとなる避難行動要支援者名簿が、更新作業等が不完全のため、健康福祉部において再度対象者の洗い出しを行う。 ③洗い出しを行った後、各関係機関に照会し、対象者を補完する。 ④要支援者のうち、優先度の高い方5名程度をモデル的に計画作成する。
進捗状況 (8月中旬)	<p>現状は、防災部局と福祉部局で上記の取組方法について検討している状況。具体的な取り組みに至っていない。</p>

<p>今年度の 取組内容</p>	<p>個別避難計画の作成ベースとなる「避難行動要支援者名簿」の再整備のため、現行の「災害時要援護者台帳」の見直し方法等について、防災部局と福祉部局との協議を行った。 自主防災組織への個別避難計画の取り組みについて、概要説明を行った。</p> <p>※できたことやできなかったこと、うまくいったことや失敗したことなどを交えながら記載してください。</p>
<p>課題と対策</p>	<p>■短期（数ヶ月～半年） （課題）現行の「災害時要援護者台帳」の更新作業が不完全なため、正確な対象者の洗い出しが困難になっている。 （対策）クラウド型被災者支援システムを導入し、避難行動要支援者関連機能を活用することにより、「避難行動要支援者名簿」として再整備を行う。優先度の判断基準についても同時に決定する。</p> <p>■中長期（1～3年） （課題）ケアマネジャーなどの福祉専門職、社会福祉協議会、民生委員、自主防災組織、自治会等との情報共有が出来ていない。 （対策）優先度の高い方5名程度をモデル的に作成し、広げていく。 （課題）計画作成の協力者・支援者となる自主防災組織、自治会等の理解が浸透していない。（地区によってバラつきがある） （対策）地区ごとの研修を実施する。</p> <p>※課題に対する対策は、その数だけ漏れなく記載してください。</p>
<p>今後に向けた 取組内容</p>	<p>■短期（数ヶ月～半年のうちに取り組むこと（予定を含む）） 「災害時要援護者台帳」の見直しを行い、新たに「避難行動要支援者名簿」として整備する。</p> <p>■中長期（予定を含む） 個別避難計画のモデル的作成を進めつつ、関係者への理解を深める研修会・説明会を行う</p>

そ の 他	<p>■個別避難計画作成の対象者の状況把握（令和4年1月1日現在）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>把握している</p> <p><input type="checkbox"/>把握していない</p>		
	区 分	対象者数	備 考
	避難行動要支援者名簿 掲載者	1,465 人	
	うち優先度高（福祉専門職や行政による計画作成を必要とする方）	一人	検討中
うち優先度低（本人や地域住民等による計画作成を必要とする方）	一人	検討中	
<p>※上記の人数は、「災害時要援護者台帳」によるもの。台帳の見直しにあわせて、優先度の判断基準についても決定し、取り組む。</p>			
<p>■令和4年度当初予算の要求状況（個別避難計画関係）</p> <p>クラウド型被災者支援システムの導入</p>			
<p>■全体で情報共有しておきたいことなど、自由に記載してください。</p> <p>—</p>			